

# 電気文化会館 プレミアムセミナー

中日文化センター 芸談の会 中日文化センター 移転記念 スペシャル企画

6月御園座 坂東玉三郎特別公演 片岡愛之助出演『怪談 牡丹燈籠』

## 片岡愛之助 丈を迎えて

～上方歌舞伎の未来を担う～

御園座の歌舞伎公演に出演する旬の役者さんのお話をお伺いする「芸談の会」。今回は、六月御園座・坂東玉三郎特別公演『怪談 牡丹燈籠』にご出演の片岡愛之助丈にご登壇いただきます。

大阪生まれ、大阪育ちの愛之助丈は、九歳で十三世片岡仁左衛門丈の部屋子となり、松嶋屋一門として上方歌舞伎のエッセンスを体得されてきました。十九歳の時、二世片岡秀太郎丈の養子となり、愛之助を六代目として襲名した後は、秀太郎丈が心血を注いだ「平成若衆歌舞伎」をはじめ、永楽館歌舞伎やシステーナ歌舞伎など関西の歌舞伎界を盛り立ててきました。

四月の歌舞伎座では、大阪を舞台にした『夏祭浪花鑑』の主人公・団七九郎兵衛とお辰の二役を勤め、上方役者ならではの自然な言葉遣いや上方の匂いが染み込んだ舞台で大きな評判となりました。また、歌舞伎にとどまらず、現代劇やミュージカル、テレビドラマや映画への出演も数多く、八面六臂のご活躍は皆様もご存知の通りです。

六月の御園座『怪談 牡丹燈籠』では、玉三郎丈のお峰の夫・伴蔵を勤める愛之助丈からお役のこと、玉三郎丈との共演で学んだこと、また、仁左衛門丈や秀太郎丈から継承してきたことをお聞かせいたします。聞き手は、演劇評論家で三重大学人文学部准教授の田中綾乃さんです。

司会・ナビゲート 田中綾乃（たなか・あやの）

名古屋市生まれ。三重大学人文学部准教授。演劇評論家。カントを中心とする哲学研究を行う一方、長年の観劇歴から演劇批評にも携わる。歌舞伎公演パンフレットの演目解説や新聞評、雑誌などでの劇評執筆多数。



### 片岡愛之助（かたおか・あいのすけ）

1972年生まれ。大阪府出身。屋号は松嶋屋。幼少時から子役として活躍するなか、1981年に十三世片岡仁左衛門の部屋子となり、南座の『勤進帳』の太刀持で片岡千代丸を名のり初舞台。1992年、二世片岡秀太郎の養子となり、大阪の中座で『勤進帳』の駿河次郎ほかで六代目片岡愛之助を襲名。2008年に上方舞・榎茂都流の四代目家元を継承し、三代目榎茂都扇性を襲名。2024年3月には、第74回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。歌舞伎のみならず、映画やテレビドラマ、舞台などでも幅広く活躍中で、2025年NHK大河ドラマ『べらぼう～篤重栄華乃夢斬～』への出演が控える。

期日 2024年 **6月7日(金)** PM 7:00～8:30 (PM 6:30 開場・自由席・入場整理券制)

会場 **電気文化会館 イベントホール**

名古屋市中区栄2-2-5 電気文化会館5階  
※地下鉄伏見駅4番出口より東（栄方面）へ徒歩2分

聴講料 一般 **4,290円** 25歳以下 **2,640円** (税込)

定員 300人 整理券 席は自由席ですが、お申し込み順に「入場整理券」をメールまたは郵送で配布します。当日は整理番号順にご入場いただけます。



主催 栄中日文化センター 共催 電気文化会館(中電不動産株式会社)

申し込み



中日文化センター 栄

0120-53-8164

10:00～19:00 (日曜日は17:00まで)

〒460-0008

名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階

栄中日文化センター

検索

WEBから  
お申し込み  
お支払い  
(クレカ払い)  
できます

